

利賀っ子だより



R4. 7. 4

○ 実体験の力

先週は、「スキヤキ楽器体験」「溪流釣り体験」と体験活動が続きました。子供の健やかな成長のためには、「実体験」がとても大切だということを、子供たちが「体験」している姿を見て実感しました。

～「子どもたちに『生きる力』をはぐくむためには、自然や社会の現実に触れる実際の『体験』が必要である。子どもたちは、具体的な体験や事物との関わりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、『なぜ、どうして』と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然のあり方を学んでいく。そして、そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組むことを通じて、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるのである。このように『体験』は、子どもたちの成長の糧であり、『生きる力』をはぐくむ基礎となっているのである。」～
(中央教育審議会答申より一部抜粋) なんとなく理解していたこの答申の文書が腑に落ちました。

ばちで太鼓をたたくときの手の感触、みんなでリズムを刻んで合わせる一体感、魚がかかったときの高揚感、友達が釣れたと喜ぶ横で自分が釣れない焦りや羨望。活動の内容そのものだけでなく、講師の先生方の優れた技へのあこがれや尊敬、そばについてできるまで指導して下さることへの感謝など、子供たちは、夢中で活動し、心を動かしていました。ICTが普及して動画を見る「疑似体験」「間接体験」も簡単にできるようになりましたが、「実体験」でしか感じるることができないことがあると再確認しました。



【わくわくする気分!】

ありがたいことに利賀地域は、優れた技や知識をお持ちの方々がたくさん、そして、多方面にいらっしやいます。豊かな自然にも恵まれています。脈々と受け継がれる伝統文化もあります。

こんなすばらしい財産を利賀っ子にどのように出会わせるか、それを考えていくのが私たちの大きな役目です。しかしながら、学校の中だけ、教員の力だけでは、なかなか十分なことはできません。

「生きる力をはぐくむ」という大きな目標に向けて、地域の方々、保護者の方々のお力添えをいただき、チーム利賀で取り組んでいきたいと思えます。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。



【じっと待つ、それが難しい!】



【留学センターの指導員さんにも
教えていただきました】



【この笑顔】

(高田 公美)